

丸石「御神霊石」 について



社殿の裏にある直径1.5メートルほどの大きな「御神霊石」は神様が宿る石として、触れると神様の御力が授かるとされています。邪気を祓い、災難を消除し、様々なご利益があるといわれ、且飯野神社の神様の御恵を感じることができます。また、人の手を一切加えていない天然のままの丸い形状は、妊婦のおなかにも似ており、触れた後に「子を授かった」という声も多く聞かれます。



6 本殿

且飯野神社のご祭神である誉田別命を祀っています。仁徳天皇御宇(大化645年以前の時代)から4回造り替えられ、寛政四年に現在の場所へ造り替えられました。昭和42年に降、屋根葺替、拝殿増築、本殿・幣殿改築などを経て現在に至ります。



4 長い石段

見上げた先から降り注ぐ日の光に導かれながら昇っていくと且飯野神社の社殿があります。神聖な空気をたくさん吸い込みながら、一歩ずつ神様へ近づくことのできる長い石段です。

3 神門

明治初期に建てられた神門の彫刻は十一支。十二支のうち何故か一つ、彫られていない干支があります。神門には絵馬や護摩木を奉納する「絵馬叶所～えまかない～」があります。



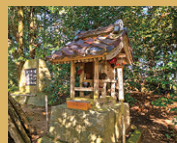
2 こま犬さん

且飯野神社のこま犬さんの頭はなでても大丈夫です。神社をお守り下さる狛犬様を感謝の気持ちでなでましょう。



1 手水

手水の水は且飯野神社の清らかな地下水が流れ出ています。神様の御力を含んだ流水を直接お手にお取りいただけます。



7 雷神社



8 三峰神社



9 神池

神社の峰の頂きにある神池は、昔からどんな早魃(かんばつ)でも不思議にも涸れたことがないため、人々から七不思議の一つに数えられています。



10 結桜～ゆいざくら～

社殿の両脇には、縁を結ぶ「結桜」が植えられ、すべての人に良いご縁が結ばれるようにと願っています。



11 梅花石

梅の花のような白い模様が浮き出る珍しい石、「梅花石(ばいかせき)」です。



5 半分の鳥居

且飯野神社の半分の鳥居と繋がるもう半分の鳥居が、今もどこかで縁を繋いでいます。

御神霊石



12 とんがり石と丸石



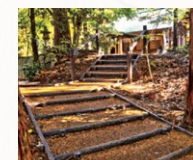
左手をとんがり石に、右手を丸石に置くと、負の力をとんがり石が吸い込み、正の力を丸石がもたらすといわれています。



14 伊夜彦神社と葉神社



13 大山祇神社



15 もりのこみち

鎮守の森の中にある遊歩道。清々しい空気、風の音、鳥の声、大地のにおい、優しい光…。この地を選び、この地を開拓し、この地を守り続けてこられた神様を感じ、優しさに包まれます。



神様のおさがり

且飯野神社では、おみくじや福飴、御朱印などを神様からの“おさがり(めぐみ)”としてご参拝の皆様へ無料で頒布(お配り)しています。「無料」とは金銭を表すものでなく、おさがりを表しています。

且飯野神社 境内の案内

※ご参拝が多い時(一日参りや初詣期間など)は、第4駐車場(P4)が**メイン駐車場**となります。第1駐車場(P1)及び第3駐車場(P3)は、お身体が不自由な方などの思いやり駐車場となりますので、ご理解とご協力をお願い致します。なお、第3駐車場(P3)は積雪のため走行できない場合もございますので、ご不明な時などはお電話でお問い合わせ下さい。
 ※元旦1月1日から臨時駐車場(第4駐車場から水原方面へ約120m)を設置します。初詣期間は臨時駐車場または、第4駐車場(P4)をお使いください。